

様式第5号(第3条関係)

事故発生状況報告書

当事者	甲(加害運転者)	氏名 加害次郎 (電話) 011-231-5430			
	乙(被害者)	氏名 国保太郎 (電話) 011-231-5161	<input checked="" type="checkbox"/> 運転・同乗 <input type="checkbox"/> 歩行・その他		
天候	<input checked="" type="checkbox"/> 晴・曇 <input type="checkbox"/> 雨・雪・霧	交通状況	混雑 <input checked="" type="checkbox"/> 普通・閑散	明暗	<input type="checkbox"/> 昼間・夜間 <input checked="" type="checkbox"/> 明け方 <input checked="" type="checkbox"/> 夕方
道路状況	舗装	<input checked="" type="checkbox"/> してある <input type="checkbox"/> してない	歩道 (両・片) <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 直線・カーブ <input checked="" type="checkbox"/> 平坦・坂		
	見通し	<input checked="" type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 悪い	積雪・凍結		
信号又は標識	信号	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	駐・停車 禁止 <input checked="" type="checkbox"/> されている <input checked="" type="checkbox"/> されていない	その他標識 一時停止	
速度	甲車両 30 km/h(制限速度 40km/h)、乙車両 40km/h(制限速度40 km/h)				
事故現場に於ける甲・乙との状況を图示して下さい。	事故発生状況略図(道路幅をmで記入して下さい。) 1 最初に相手を発見したのは約     メートルの位置 2 車(甲、乙)その時私は・わき見 <input checked="" type="checkbox"/> 考え事・標識見落・先に行けると思った・速度が出た・その他( ) 3 歩行者 その時私は・先に渡れると思った・車の接近に全く気がつかなかった・急に飛び出した(左から)・走った・その他( )				
				甲 車 乙 車 進行方向 信号 一時停止 人間 自転車 } オートバイ }	
上記図の説明を書き下さい。	甲は考えごとをしていて、一時停止の標識を見落とし、乙と衝突しました。				
	この報告書は過失相殺を判断するため、一番重要なものです。 原則として加害者に洩れなく記入をお願いして下さい。 記入に際しては、警察の実況見分のとき現場で説明した時と同じように記載してもらうことです。 ( 損保会社の人の記載は、できるだけ避けて下さい。 )				

別紙交通事故証明書に補足して上記のとおりご報告申し上げます。

年 月 日

報告者 甲との関係( 本人 ) 加害次郎  
乙との関係( )